

小さな群れ

カトリック美唄教会

2018年6月 No.254

2018年5月27日発行

十字架の意味

ナルチゾ神父

教会にはよく十字架が掲げられています。それは、多くの人々がアクセサリーとして所持しているようなただの飾りではありません。十字架は、神様が人間の罪を赦し、永遠のいのちを与えることの出来る唯一の方法なのです。私たちは飾ってある十字架を拝むことはしませんが、感謝の心を表します。十字架は救いのシンボルと言ってよいでしょう。

「父と子と聖霊との聖名によって」唱えながら、右の手で、額、心、左と右の肩を触りながら、十字架の印を切るのです。神は創造主、救い主、愛であるとの信仰の宣言です。キリスト者は朝起きる時、食前と食後の感謝の祈りを唱えるとき、また寝る前に十字架の印を切る習慣が身についています。また結婚の契りを結ぶ時や、仕事の始まる前と終わってから多くこの印を切ります。

イエス・キリストがはりつけとなった目をそむけたくなるような十字架上での姿は、人生の中で悩み苦しむとき、極限と思えるような中であって、力となるのです。「キリストの苦しむ姿が自分の苦しみと重なり、乗り越えることができた」「十字架のキリスト像が、苦しんでいるときの力になった」ということは、時代や、国境を越えて多くの人々から証言されています。



「十字架の言葉は、滅んでいく者にとっては愚かなものですが、わたしたち救われる者には神の力です」（1コリ1.18）

キリストの十字架によって救いが全世界にもたらされたことを記念する十字架は、キリストの死の勝利の象徴として、またキリスト自身の象徴として、中世ではあがなないの意味合いを強めたかたちで表現されました。世界中は実にさまざまな十字架があり、芸術としても評価されています。

主日ミサの予定

先読は坂本さんです。6月はイエズスのみ心への祈りをします。P13

日	曜	ミサ		朗読奉仕		その他事項
		主日・祭日	時間			
3	日	キリストの聖体	午前11:00	第1:三間 第2:河野	答唱:東 共同祈願:河野	
10	日	年間第10主日	午前11:00	第1:大城 第2:吉村	答唱:建部 共同祈願:大城	ミサ後 運営委員会
17	日	年間第11主日	午前11:00	第1:村田 第2:蓮井	答唱:三間 共同祈願:村田	
24	日	洗礼者ヨハネ	午前10:30	第1:東 第2:坂本	答唱:大城 共同祈願:坂本	聖ペトロ使徒座への献金 空知ブロック合同ミサ・交流会

《 平日のミサ 》 金曜日のみ 午前10:30 1日、8日、16日、22日、29日

《 聖書を親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。

《ロザリオの祈り》 20日（水） 午後6:00より 聖堂

献金	霊名の祝日	清掃当番
世界広報の日献金¥6300 司教館送付済	6/18 コリアナ 山内 敦子	【第2週】東
	6/29 ペトロ 小川 真	【第4週】山本、中村
	6/29 パウラ 小川 知子	